

## ～みなさん「想い」を聞いてください～



6月の半ば頃から梅雨に入り、蒸し暑い日が続きますが、みなさまお元気でお過ごしでしょうか。

さて、当センター玄関前の壁には、つばめの雛、雛と言っても既に親燕と姿は同じくらいに成長した子燕が、親からの餌を待って6羽全員が、几帳面に巣から頭を出して、元気に並んでいました。そんな何気ない風景が微笑ましく、「ホッ」とした穏やかな思いを覚えました。このまま元気に巣立ってほしいと願うばかりです。最近、みなさんも「ホッ」とした、そんなことはありましたか？

### ◆ヤスデ出没から寛容さ認識(八島指導員)

6月中旬ごろから私の家の中に、変な虫が一匹また一匹と多くなっていきました。その虫は、「ヤスデ」と言って、体長1.5センチから2センチ余りの、一見「ムカデ」に似ており、ネットで検索してみたら「ヤスデ」と言う虫で、ムカデとは違って触れたところで噛んだりしません。むしろ、自然界では、土壌の分解者の役割を担っているため「益虫」に属しています。

このヤスデが、梅雨入りしたところから、家の壁、床、天井で見かけるようになりました。我が家だけではなく、隣の両親の母屋やその隣の家も同じようにヤスデが現れているみたいでした。少しの数であれば、驚きませんが、6月15日以降ほぼ毎日のように、50匹～60匹のヤスデを捕獲し駆除しています。「どうしてこんなに多くのヤスデが」と思って、ネットで調べると、ヤスデの習性として、梅雨の雨を嫌って土中から出て、近くにあった建物に侵入してきたようです。最初は、塵取りとほうきで履いて取っていましたが、これでは、とても間に合わず、また、じっとしていません。1匹とれば、また1匹と続いて、あちこちから出没して、いささか精神的にも疲れてしまいました。

ある日、母親が隣のおばちゃんに家の状況を聞いたみたいです。すると「そりゃおるよのお」と返答があり、特に気に留める様子もなかったそうです。虫が出るの

は自然なことで、当たり前みたいな考えからなのでしょう。それを聞いて、とても大らかな感じを受けました。考えてみると、周辺は畑で、雨の影響で家に入ったとするとネットで調べたとおりの状況です。おばちゃんは、今の状況を受け入れて柔軟に対応している「寛容な考え方がそこにあるのかなあ」と感じました。

この寛容さは、世の中の各種問題を解くカギになるのではないのでしょうか。例えば、直近のニュースでは、6月30日改正道路交通法施行があります。これは「あおり運転」に伴う、運転中のささいな事から発展し、命まで落としかねない危険な運転を防止するための、罰則規定を盛り込んだ法律です。法が規制しないと人の命が守れない今の状況は、悲しい限りです。しかし、ドライバーが「寛容さ」を意識し、また、行動することが事故防止に繋がると思います。世界中でおきている紛争、各種問題などの解決の糸口となり、世の中を円滑にしてくれる潤滑油の一つとなると思います。とりわけ、コロナ禍の影響で疲弊した社会状況、人間関係において、「寛容」ということを頭に置き、行動することがこれからの生活で大切であると感じています。みなさんはどう思いますか？

追伸、私はもうしばらくの間、ヤスデと向き合います。みなさんも周辺で、ヤスデを見かけられましたら、八島が「寛容さ」について書いていたことを思い出してください。

## 突然ですが

### ◆「はいせつ」のお困りごとはありませんか？（田村相談員）

高齢化が急速に進む高宮町は、お二人に一人が75歳以上の高齢者です。ご家庭での高齢者のお世話の困りごとも、これまで以上に増えてくることでしょう。お世話の中でも大変なことのひとつである排泄に関しては、他人に相談しにくく、大変さをお家の中で抱え込んでしまいがちです。当センターでは、排泄ケアで悩まれている方の心を少しでも軽く、気軽にお話していただける場所になるため、京都の排泄用具の情報館「むつき庵」と連携して、皆さんに良い情報をお届けできるよう体制を整えています。

悩んだ時には、是非お気軽にいらしてください。一歩前に進む方法を何か見つけて頂けると幸いです。

将来のご自身の為にも色々知っておくと安心ですよ。

当センターの職員も勉強中ですが、「知っていて良かった。」と思うことに、たくさん出会います。ひとりで抱え込まずに、一緒に良い方法を考えましょう。